

E.R.F.C.

Newsletter 2003 vol.1

【新年度会長ご挨拶】

～この号からE.R.F.C.の活動も新年度に入りました。そんなわけでまずは会長のご挨拶から～

こんにちは、今年も会長のひでまるです。今年のゴールデンウィークは天気がいい日が多かったですね。天気が良すぎて暑いくらいでしたけど。最近ではエアコンなしで居られる季節が短くなったような気がします。もっと屋根を開けて走っていたいんだけど、日射病になっちゃいそうです。

先月、広島クラブ J-58G 主催の「里帰りミーティング3」に参加してきました。いろんな方とお話して、ロードスターの楽しさを改めて感じました。E.R.F.C.もがんばらなくっちゃいけませんね。清里ミーティングはもちろん、ピクニックやミニミーティングなど、みなさんとお会いできる機会を増やしたいと思っていますので、今年もよろしくお祈りします（ペコリ）

(No.590 ひでまる)

【総会報告】

去る4月12日(土)に末広町の通運会館にて2003年度のE.R.F.C.総会が開催され、今年度の活動について話し合われました。まず、会場の通運会館なんですが、秋葉原のPC屋やら同人誌屋やらがある一帯の一本路地を入ったところ。一本路地に入る=怪しい店が立ち並ぶこの境界。なぜか会場の通りの向かいにあるガチャポン会館から登場する某委員長が目撃されたり...なんてヨタ話はさておき、早速議事の報告など...

スタッフ改選

今年度の事務局は以下の通りです。長年会報の編集を一手に引き受けてきたひでまる会長が今年度は会長職に専任し、代わって小関(豆蔵)委員長が兼務することに。(今年度のプレスはやたら字が細くなるかもしれません...)その他の顔ぶれに変更はありません。

- | | |
|------------------|-----------|
| ・会長 | 今中 英夫 |
| ・副会長 | 和田 大 |
| ・会計 | 高橋 始史 |
| ・清里実行委員長 | 小関 秀樹 |
| ・事務担当 | 角山 恵一 |
| ・会報編集担当 | 小関 秀樹(兼任) |
| ・会報印刷 | 高橋 千佳子 |
| ・会報進行 | 平口 紀生 |
| ・渉外 | 渋谷 康人 |
| ・ウェブ&メーリングリスト管理人 | 和田 大(兼任) |



今年度の活動方針

・ピクニック

今年も6月頃を目処にピクニックを開催予定です。詳細は本号の開催案内をごらん下さいませ。

・安全運転研鑽会

すみません、手頃な開催地が見つからず今年も開催できそうにありません。

来年こそは復活させるべく引き続き開催地を探していきます。

・清里ミーティング(11月9日予定)

恒例の清里ミーティングを今年も開催します。いまからスケジュールを空けといてください。さて果たして今年も晴れるのでしょうか？

・会報の発行

今年も年6回の発行を予定しています。皆様からの投稿記事も引き続き大募集中です。メールでもお手紙でもお気軽にお寄せ下さい。

・都筑オフの開催

ひでまる会長が時々関東に戻ってくるタイミングに合わせて、都筑オフを随時開催していく予定です。

・ウェブとメーリングリストについて

メーリングリストでのスタッフの発言が少ないという意見がありました。今年度は少しスタッフの発言を増やすように努力していきます。

...ということで、相変わらずと言えば相変わらずですが、

今年度も文化系(?)のクラブらしくロードスターというクルマを中心に数は少ないけれど特色のある活動を行う予定です。

(わだ)

【新年度会に参加して】

～ 総会後に行われた新年度会に参加された会員の後藤さんからお便りをいただきました～

4/12 土曜日、役員総会の後、新橋で開かれた新年度会に参加させて頂きました。初めてお会いする方が殆どでしたが、皆様 ML でのイメージと同じで安堵致しました (笑)

で、のっけからすいません、RX-8 に浮気しかかりました (笑)



幸い？納車は秋以降と言われて熱も冷め、取りあえずロドスタの車検を取る事にしました。これで目出たく12年目に突入となりましたが、8の悪い話(悪い話も)を聞くにつけ、いつ浮気の虫が再発するかわからない状況ではあります..

閑話休題..以下年寄りのたわ言と思って読み飛ばして頂ければと。

私こちらでは長老の部類に入るかと思いますが、最近同じ車に長い間乗っていると良くも悪くも色々あるわい、と想う事が多くなりました。10～20代は誰も似た様なものと思いますが、私も車にはスタイルとスピードを求め、当時欲しくてたまらなかった「いすゞ117クーベ」を新車で買い、排ガス対策で骨抜きになった eng.を最高速 200Km オーバーを目標にメカチューンして楽しんでました。

現在も「美しい車はそれなりに速くなければならない」と言う気持ちは持ち続けておりますが(CG 小林彰太郎さんの受け売りですけど..笑)今想えば普通の車好きな小僧でした。

この117クーベは購入26年経った今も手許にあり、私は創立27年目に入った117オーナーズクラブの代表をしております。会員は全国に60名程、平均年令50歳弱、旧車のクラブでは運営期間も平均年令も最長の一つかと思ひます。

そんなクラブの年寄り連中が集まると、古い車ですのでパーツ調達の話題は当然としても、「そのうち117に乗れなくなったらどうしようかねえ」って話が多くなりました。(ロドスタと違い、乗用車から撤退して10年経ったいすゞのパーツ供給状況は最悪です)

何分車も人も古いので両方壊れている事も多い(笑)長距離走るのはしんどい。加えて、旧車に対する規制強化、ガソリン問題..さらに切実な問題として、爺さんになって運転が出来なくなったらどうする?..(@m@;;と、年寄り短い先の事を色々考える訳です(笑)

なので、車のクラブも長く続けていると車だけが主役では正直辛くなるんですね。

ERFC 新年度会に参加させて頂いて、こちらはその辺りいい雰囲気だなあと感心した次第。ロドスタを手放されてもおつき合い続けている方も多様ですし、車以外の話題も豊富、それに奥様が車趣味に大変理解のある方々ばかりの様で、その対策に苦慮している私としては羨ましい限りです。



新年度会の写真は皆様自慢のデジカメで撮られていたので、そちらはお任せするとして私からは26年モノと11年モノの写真、それに友人(117乗り)所有のロドスタ写真を。

エバは結構珍しいのではないのでしょうか？

では若輩者(笑)ですが今後共未永くおつき合いの程、宜しくお願い申し上げます。

(後藤 敦司 No.697)

【里帰りミーティングIII参加報告】

～ 5年半ぶりに開催された里帰りミーティングに参加してきました～

4月19、20日に広島で開催されたロードスター里帰りミーティング III (CLUB J58G HIROSHIMA 主催)に参加してきました。

前回はN B発売直前の年末の開催だったので5年半振りの開催です。

初日のイベントは広島の北部、芸北町のスキー場で行われたため行きは中国道経由です。もともと天気予報でも怪しげだったので、岡山県内でとうとう降ってきました。でもその直前のSAから幌を開けて走り出したばかりだった我々一行は、そんな雨にも負けず(意地だけで?)高速を降りる直前までオープン走行を続けたのでした。(^^;)

さて、すっかり雨模様の芸北に到着したのはすでに午前中のジムカーナも終盤となった11時頃。雨の中、J58Gの皆さんは受付からジムカーナの運営、果て(?)は餅つきなど身体を張った企画まで頑張ってくれていました。



餅つきでとっても息の合ったところを見せる佐竹 J58G 会長と I N D Y 里帰り MTG 実行委員長



全身芝生張りの芝生号

この日のジムカーナは天候もあって参加者の出足がやや遅かったようで、逆に早くから参加していた人達にとってはほとんど走り放題だったらしく満足度は非常に高かったようです。出走車も初心者から気合いの入った S/C 付車、さら

には J58G 自慢(?)の芝居号までバラエティに富んでおりそれぞれにアツイ走りをみせていました。

そんな中で J58G の佐竹会長が真っ先に「これ昨日上がったばかりじゃがええじゃろ」と、紹介してくれたのがデルタの新型シート。肩の張りが大きくなりホールド感が増してました。。。ミュージン買ったばかりの身としては少し複雑。(;-;)

お昼明けに雨の止み間を見て早速行われたジャンケン大会では佐竹会長は確実に腕を上げてました。(笑)・・・と言うか、なぜか ERF C 関係者(中でもひでまる会長)は面白いように負けていました。

午後もやまない雨のおかげでジムカーナはあいかわらずタイヤにやさしい状態(?)でしたが、コースが長かった(それでも J58G 的には判りやすくていい)のでそう言う意味ではなかなか手ごわかったようです。午後の部も後半になってから参戦したはらさんや高根君も慣れないパイロンジムカーナのコース暗記に手間取り、こんなことならもっと早くから走るんだって、と悔やむことしきり。特に結果を見ると決して悪くなかっただけに、コースミスが減らしていれば、ね。



さて、雨の中でも盛り上がっていた午後のジムカーナやその後の表彰風景をひでまる会長は見えていません。一方、なぜまるが見ていなかったのかをなぜか参加者のほとんどが知っています。(^^)



林さんの音頭で乾杯!

初日の夜は食堂で食事と懇親会。清里にもお越しいただいている林さんや福田さんご夫妻、竹井さん、そして前回の清里ゲスト予定だった次期 R

S デザインのカギを握る中牟田さんがゲストとして参加され盛り上がりました。後半にはゲストの皆さんがそれぞれのテーブルに分散され、参加者が直接いろいろとお話をする機会を得ました。我々のところには福田さんがいらっやって、RSクーペのことなどいろいろとお話をさせていただきました。あ！みんなそれぞれのゲストのところ例のロードスター本を抱えてサイン大会も。。。

懇親会がお開きになると宿泊場所のケビンへ移動。なんと我々は中牟田さんたちと同ケビン。どくさで今年こそ清里へ来てもらえるようお願いしたり、さらに勢いで次期 RS につい

てたずねたり・・・でも酒飲んでてもなかなか口は硬かったです。(おい

#でも、2日目には参加者みんなに特別なもの、見せてくれました。だけど口外するなどと言われたのでここでは書けません。(^^)

で、さらに夜更けには例によって宴会部屋へと移動。1時半だか2時頃まで飲んで激論(?)を戦わせていました。会長と違い(^^;)昼間に充電していなかった私は1時頃には電池切れで白河夜船でしたが。。。



福田さんは一人一人にとっても丁寧なコメントも添えてくださいました。

そして明けて2日目。残念ながらこの日も雨でした。夜中には落雷の音で目が覚めたぐらいだし・・・

ちなみに報告するまでも無いとは思いますが、ひでまる会長は参加者中誰よりも遅くまで寝ていました。(爆)

#その節はご迷惑をおかけしました。>関係者、参加者各位

この日は芸北からマツダ本社まで移動。そう言えば何度か広島には来てるけど今回初めて広島市電を見たような・・・原爆ドームも見たいし。まあ、毎回マツダと芸北しか来てないようなものだからしょうがないか。(苦笑)

マツダの駐車場では夜行と鈍行を乗り継いでこの日の朝広島入りしたつのがやまさんと合流。さらにミュージアムで貴島主査らこの日のゲストの皆さんと合流。

そのミュージアムでは展示してあった大型(1/5 ~ 1/6?)のモデルを誰もが欲しがったものの、実はパーツ一つ一つを作っているので実車よりも高いと聞き一同驚愕。また展示の後半にはラ



これが1台200万ともそれ以上とも・・・

イン見学があり、発表直後の RX-8 が並んでいました。その時に貴島主査が「もうエンジンが乗ってるんですよ」と言いながら指差した先には補機が納まる前の RX-8 が。。確かにあれはもう一つエンジンが乗せられそうです。(いや、そう言うことではなくて...)あれを見るといかに RX-8 のエンジンが低く且つ後ろに置かれているのが判ります。マジで驚きました。

この日は工場がお休みでミュージアムも特別に開けていただいたと言うことでラインも動いてなかったのですが、つい先日、動いてるところを見にきたつのがやまさんの解説を受けながら、、、って、考えてみれば私もここに来るのは3回目なんです。(^^;)ミュージアムの最後にはマツダの歴史を飾った車の展示があるんですが、気がつけば現行車の展示コーナーで RX-8 に黒山の人だかり!でも私は気付くのが遅くてチラッと見ただけで終わっちゃいました。。。



貴島さん。オート三輪の前に語るは次世代車の構想か?

さて、ミュージアム見学後は構内をバスでデザインスタジオへと移動し、RSクーペが2タイプとさらにカバーのかかった謎のブツが置かれたプレゼンルームに。

ここで昨年、清里にゲストとして来ていただいた吉岡さんご夫



妻が合流。昼食をとり、初日に引き続きサインをおねだりしたり、RSクーペに触ってみたりしてからゲストである貴島主査、吉岡さん、そして中牟田さんによる講演。

この時に吉岡さんからは超特別のはからいで見ちゃいけないもののお披露目が!!!でも我々は見なかったことになってるのでここに書くわけにはいきません。(おい!)さらに中牟田さんからは…っと、これも言

っちゃいけない約束だった。(爆)

#参加できなかった皆さん、悔しがってください。<鬼

そしてなんと吉岡さんからは「今年も清里に参加してもいいか?」と嬉しいお願いをされてしまいました!さらに参加者を前に清里ミーティングへのお土産予告までされてしまいました。実行委員長としては恐縮しちゃうほど有り難い思いで一杯です。(T T)



一通りのお話が終わると質疑応答タイム。ゲストの皆さんはそれぞれの質問に対して(話せる範囲で!)丁寧に答えていただき、面白い意見や答えが聞けました。質問と答えをいちいちここに書くとともに紙

面を圧迫するので、とりあえず一つだけ。おそらく ERFC 会員のうち多くの皆さんには残念なお知らせですが、いまだに希望の多いリトラの復活は法令の関係上ありえないそうです。

(;_;)ただ、少量生産モデルなら抜け道はあるそうなので、マツダ本社ではダメでももしかしたら…。(?!)

さらにここでもジャンケン大会があったのですが(2日間を通じてなんと通算3回目!)ERFC勢は初日に引き続き今一つだったものの、ただ一人、つものやまさんの強運は昨年末から今年年度が変わってもまだまだ続いているようです。

そんな感じでイベントが終了したのは15時頃。非常に盛り沢山で楽しんでいるうちに気がつけばあっという間の2日間が終わってしまいました。そして帰りたくない想いを引きずりながらも、結局2日間降り続いた雨の中をJ58Gの皆さんに見送られながらマツダを後にして帰路についたのでした。

いや、もう、しかし、なんですわ。ちょっと無理してでも行った甲斐がありました。なにしろ一度参加してみれば、埼玉から日帰りの覚悟で参加する人の気持ちも判るってもんでしょ。(爆)なにしろ里帰りミーティングはここでしか味わえない事が多すぎます。よく反則ギリギリなんて表現がありますが、はっきり言って反則そのものです。もちろん、参加者から見てとってもいい意味で。(笑)

清里ミーティングはあの内容の何分の一程度にしか匹敵しない気もしますが、スタッフの気持ちと参加して下さる皆さんの満足度では負けないように頑張らなけりゃ、と秋に向かって気を締めめた実行委員長でした。



(小関「豆蔵」秀樹 No.529)

【初心者の方「番外編もいよいよ大団円?」の巻】

~今話題のRX-8!前回「やっぱり実際に運転しないと、車ってわからないですよ」と書いた甲斐あってか(?)人も羨む…~

ということで、仲田さんや酒川さんや後藤さんやいろんな方から「毎回楽しみにしてますよ」「ちゃんと読んでますよ」と励ましのお言葉をいただき、感激しているつものやまです。ほんとうにありがとうございます。涙ちょちょ切れこそしませんでした。顎の仰角が5度ほど上を向いたのは確かです!(妻に確かめてみてください。)で、おかげさまで、パンフレットプレゼントはTシャツの時ほど悲惨なことにはならず済みそうです。重ね重ねありがとうございます。ご応募された方全員に何らかのパンフレットが届きますので、ぜひお楽しみに。そしてお約束、ご感想お待ちしておりますよ。

さて、前回で終わったはずのRX-8シリーズ、実は更に続きがございました。。じつは、乗っちゃったんですよ。しかも広島県は三次にあるマツダのテストコースで!あーいやーごめんなさい、またしてもブーイングが聞こえそうじゃ。(涙)



三次のテストコースといえば、古くはNB発表前のロードスターオーナー向け事前試乗会で走行された方や、あるいはロードスター10周年イベントで高速周回路をパレードしたなんて方もいら

っしゃると思いますが、あの三次です。なんでまた、ろくに走れない奴が、、という非難の声を掻い潜りながら、まずはいつものように事の顛末から。

3月に入った頃だったでしょうか?例のLAツアーでお世話になったマツダのWEBマーケティング部狩野さんから、お誘いのメールが入ったところからすべてが始まりました。皆さんご存知だと思いますが、RX-8のWEBサイトでは三次の試乗会参加者を募集していましたよね?一日目にマツダミュージアムやRE工場見学をして、二日目に三次でRX-8に乗れるという企画でした。(とある方からLAに行った上に試乗会まで当選したら本気で許せないから応募するなと厳命された私は応募しませんでした。ほんとに!)

実はその一日前に、まったく同じ企画が行われる予定になっていました。ただ違っていたのは、招かれたのがすべて外国人。そう、欧米の顧客向け(主に予約をされた方だそうです)に同様の企画だったわけです。で、、LAツアーの一行が、少し人数的に余裕があることから、この企画にお邪魔させていただけることになったのでした。いやぁ、ラッキーだ。(さすがに今回は交通費や宿泊費は自前でしたので念のため。)

もちろん妻と二人でいそいそと広島行きの準備をはじめました。年度末の忙しい時期だったこともあって、LAツアー組みからは結局妻と私の二人だけの参加となって、ちょっと寂しかったのですが、、

3連休初日となる3月21日、広島駅に降り立った我々は、まずは駅に展示されていたアテンザとご挨拶。ローカル線に乗り換えて一駅の向洋へ。初めてのマツダ本社訪問に結構ドキドキしました。ショールームへ入るとそこにはウワサのRSクーペが二台並んでおり、折しも昼休み時間帯だった本社工場にお勤めの皆さんが興味津々でごらんになっていましたよ。

集合時間をちょっとすぎた頃、外国からのご一行さんも到着され、まずはマツダミュージアム見学です。これは営業日に行

けば誰でも見せてもらえるツアーですので、お近くにいかれた際はぜひ！内容は、まだ行かれていない方のためにあまり触れませんが、車をどういふ順番で開発しているのかわかりやすく展示してあります。また、NBをばらして展示してあったり、歴代の名車が展示されていたり、ルマンで勝った767Bが展示されていたり、マツダファンならずとも楽しめると思います。ハイライトはライン見学。実際に車が組み立てられていく様を見られました。これは楽しかったなあ。まだ時期的にRX-8はあまり流れてなかったようですが、デミオやNBが同じラインに混ざって組み立てられていく様は、なかなか面白かったですよ。基本的にミュージアム内は撮影可能でしたが、ラインだけは禁止でした。

さて、ミュージアム見学が終わってから、我々は一般の見学者と別れてロータリーエンジン工場へ連れて行ってもらいました。当然ながら、ここからは写真はNG。工場の方の説明を受けながら、まさに組み立ての真っ最中のレネシスを見せていただきました。部品の作成などはもちろん機械化されている(そこにまたさまざまな工夫を施していました)のですが、最後の組み立てはホントに手作業なんですね。クリーンルームのようなガラス張りの部屋でローターやエキセントリックシャフトを組みつけていく様は、まさに職人技。我々の視線にちょっと恥ずかしそうに作業してるおじさんが、それでも何か誇らしげだったのが印象的でした。

ここでちょっとしたデモンストレーションを見せていただきました。組み上げ終わって初期テストが終わったエンジンに、実際に燃料を入れてまわすテストをするのですが、なんとその上にワインを注がれたグラスを載せたのです。レシプロエンジンじゃ考えられないことですが、グラスの中のワインには殆ど波紋も広がらず、遠目ではグラスが振動しているのがわからないくらい。きれいに回っているのがよくわかるデモンストレーションでした。

初日のイベントはこれでおしまいです。外国人ツアーの皆さんのバスに同乗させていただき、広島駅まで送っていただきました。広島は10周年イベントの時に好み焼きを食べて原爆ドームを見学したことしかないのに、夜の広島をお散歩しました。パン屋さんのアンデルセンが大きなお店を構えていてそこでお茶をしたり、牡蠣を食べ損なったり、瀬戸内の魚がおいしかったり、、、

そして翌日の22日、いよいよ三次での試乗会です。広島駅でまたまた外国人ツアーの皆さんのバスに便乗させていただき、いざ出発。ちょっと雨模様なのが心配でしたが、三次に近づくにつれ天気も回復、ウェットでスピンして恥をかくことはなさそうでしたよ。



一時間ちょっとのドライブで、ついに三次の試験場へバスが入っていきます。(残念ながらここも撮影禁止です。)ここで試験場の方が乗り込まれて、バスに乗ったまま、今日走るS路のコース説明を受けました。バスで走っていてもなんか楽しそうなコースなんですよ。そして、いよいよスタート地点へ。なんとコース脇に大型のテントが組まれていて、椅子やらテーブルやら...その横には、RX-8が！こんなに歓待されていいのだろうか？と緊張感すら走った状態で、バスを降りてまずはブリーフィングです。今日の予定は、午前中に3回、午後には3回の試走、試走の前後では展示してあるRX-8を自由に触れて、また開発者の方々にお話を聞けるといふ、、ゼイタクだあ！と妻と二人でため息をつきました。

まずは外国人ツアーの方が最初の試乗されている間に、い

よいよ国内販売バージョンのRX-8とご対面です。薄日が差す屋外で、ひさびさりに対面したRX-8は、、ホントに色がきれいでした。展示されていたのは、赤、青、黄色の3台だったのですが、当初赤がきれいでいいなと感じていたのを覆すような勢いで、青が目立つ目立つ目立つ！ピシヨウに深みがあるのに晴れやかに見える青って初めて見ました。うーん、これは青がいいなあ、と、まるで予約しにきたみたいなお気分で考えてしまいました。車内の印象やレイアウトは、LAで見たのとそう変わらない印象だったのですが、とにかく色が、やっぱり気合入っているなあと感じさせてくれました。

そうこうしているうちに、いよいよ待望の試乗が回ってきました。用意されていたのは、ハイパワー、ATそして比較用のアルテツア。まずはハイパワー版、、、実はロータリーをまともに運転するのはじめてなんですけど、いやあエンジンが軽くまわりすぎてあつという間にスピード出ちゃいます。やばいですよ、このクルマ。殆どのコーナーの両側に速度制限用のパイロンが置いてあり、そんなにスピードは出せないのですが、それでもあつという間に回転数警告音が鳴ります。それにも増して、なんと乗り心地のいいこと。これは驚きました。私の腕で出すスピードで気になるところがまるでないのです。うーむ。別に挙動がふわふわしてるとか、ロールが大きいとか、全く感じないのですが、いわゆるしなやかな足といえますが、ホントに快適なんですよ。しかも操作は軽快で、思ったようにノーズが向きを変えてくれます。今まで乗ったどの車よりロードスターに運転している感覚が近いと感じました。初めてかもしれない、この違和感のなさは！

チョットした興奮を押さえきれないままATに乗り換えてもう一周します。多少落ち着いてきたせいか、パワーが少し少ないかなと言う程度は気づきましたが、ワタシには十分です。パドルシフトなのですが、これワタシにはとても使いやすかったですよ。ただ、4速なのでどうも操作のし甲斐がなくて、、5速欲しくなりますね。聞くところによると今のサイズに納まる5速ATがなかったそうです。残念。でも、これで十分ですね、我が家での使い方を考えても、、とまるで買う気になっていますが、

さてその後比較のアルテツアに乗りましたが、、大きなクルマですね。初めてじゃないんですが、RX-8の後に乗ると、大きく大きく感じました。。

さて、感動の試乗の後は、何となんと大テントの中でケータリングの食事です。この頃にはすっかり晴れて、やっぱり青がキレイでした。赤も青も、光に当たると輝きを増して明るくなります。逆に黄色はちょっと色が飛んでしまう印象でした。これらの明るい色に混ざると、薄いグレーはいかにも印象が無いんですよ。うーむ、、

さて、美味しい昼食の後は、再び置いてある車を眺めます。丁度、シャシー開発をなされた小田さんがいらしゃったので、お話しをお伺いしました。街中ではノーマルパワー版のATが乗りやすいセッティングになっていること、ご年配の方でも十分乗りこなせるように考えたので、お父さんのクルマにどうですか？なんておっしゃってました。それから、ロードスター乗りには気になることもおっしゃっていられたような、、ヒミツですけど。



さて、午後の試乗の順番が回ってきました。今回も、午前中とは違うクルマでしたが、ハイパワー版、AT版そして比較用のZと乗りました。改めて思ったのが、車の大きさを感じないこと。運転している時にリアシートがあることや、普段乗ってるNAより幅が広いことなどを全く意識しませんでした。いい意味でタイトなんですよ。窮屈ではなく、メーターの視認性も問題無いと

思いましたし、操作で気になるところも殆ど無かったです。一点だけ、パワーアシストの無いフロントシートの場合、スライドが結構軽い操作だったんですよ。これだと、後ろに人が乗ってる時に一気に後ろに滑らせると危険かな？と思ったくらいです。そうだなあ、うちの使い方だと、ノーマルパワーのATで、ただ18インチを履いたバージョンかな？なんて買いもしないのに決めていました。ところで、この時乗ったZですが…いやあ、いろんな意味で「スパルタン」なんでしょうね。以上。

こうして2日間の広島旅行が終わりました。そうそう、この日、J'sTipe 誌の編集長が取材でいらっやってまして、…載っちゃいました。クラブ代表で行ったわけじゃないんですが、そう書かれてました。ま、いいか。

ということで、去年からはじまったRX-8を巡る一連の騒動？も、これで漸く収束したようです。最後まで読んで頂いてありがとうございました。

自分がRX-8と言うクルマに、チョット変わった関わり方をしてしまったので、どこまでフラットに考えられているか若干不安ではありますが、それでも正直に思うところを書いてきました。



ワタシにとっては十分スポーツカーだし、しっかり後ろに人が乗れるし、その上決して高価ではない。十分悩むに値する車です。好きか嫌いかと聞かれなくても好きな車の一つになりました。運転してて楽しい車って、やっぱりいいですよ。しかもそれが、大好きなロードスターに印象が近いんですよ。正直に言うと、買うことを結構悩みました。でも、…やめました。やっぱり、今乗ってるウチのロードスター、好きですから。買い足すお金もないしね！ははは…では、アディオス！

(つをやまけい いち No.153)

【RX-8 番外試乗記・怪鳥篇】

～そうは言ってもやはり気になるRX-8！怪鳥も職権乱用(ウソです！)で試乗してきたそうで・・・～

えー、怪鳥です。さて、里帰りミーティングに行けなくて悔しい私でしたが、実は仕事でRX-8のハイパワー版で、著名モータージャーナリストの皆様にご迷惑ながら混じって、ツインリンクもてぎをノソノソ走る機会に恵まれましたので、ご報告します。

おお、新世代ロータリー。

まずクルマに乗り込んで、もてぎのピット裏をのろのろ走らせて思ったのは、超低速でもギクシャクしないこと。前のロータリーだったら、ちょっとですがカクンカクン、となることがあったんで、だからオートマをオススメする評論家さんも居たわけですが、今回の新世代エンジン、レネシスはそんなことはありません。ごくごくスムーズで、ちょっと感心しました。

おお、レギュラーサイズの広い後席。

大人4人フルサイズ、ってどの雑誌を見ても書いてありますが、それは本当です。特に後ろの席は、フロントガラスまでかなり距離があると感じるからでしょう、ガイジンがきちんと座れるサイズのシートサイズと相まって、さらに広いという印象です。逆に前の席は、Aピラーがグッと頭に迫ってくるので、シート自体は小さいわけではないと思いますが、タイトな感じがします。走り出してしまうと、そんなことは気になりませんが。

おお、スポーツカーなり。

いざレースコースを走ると、何せ僕の腕には余るクルマなので、せいぜい2、3速でフルスロットルにするのが精一杯。グリップのいいコースでは、さすがトルクカーブがフラットなロータリー、踏んだ分だけあっという間に車速が上がります。RX-7と同等以上のコーナリング性能というだけあって、スムーズそのもの(問題は私の腕だ)。一般道と同じような路面、コーナーが続くレースコース内の連絡路も走るようにコース設定されていて、そこも走りましたが、「これなら一般公道で、中低速走行するのも楽しそう」と思いました。サスペンションもしなやかで、公道走行はとて快適でしょう。たぶんそれに合わせたセッティングです。でも、サーキット走行するならもっと固めたいですが、とにかく、走りに文句は付けられません。

で、結局どうかという。

さて、念のために2回も試乗させてもらいました僕の結論はこうです。「家族も許してくれるかもしれない、本気のスポーツカー」。許してくれる、って言えないのは、やっぱりファミリーカーではないから。スポーツカー気分(いやこれは正真正銘のスポーツカーです)で、お父さんに同乗する家族の立場になると、このクルマはホットに走りなくなっちゃいますから、そうされちゃうと、家族としてはあんまりうれしくない、クルマ好きにお子さんを教育すれば別ですが、特にオカサンには買って欲しくないクルマになっちゃうんじゃないでしょうか。

だからこのクルマは、家族を乗せている時にはひたすらジェントルに走れる(低速のギクシャクもないから安心だし)、もしくはそういう信用があるお父さんか、クルマ好きの夫婦(子供なしか、子供ふたりまで)、あるいは僕みたいな怪しい独身男(でも真面目に結婚する気はあるぞ)に最適かと思えます。

え、じゃあお前は買わないのかって？ 正直、考えましたが、僕の初代ロードスター13年ヴィンテージが、もし中古になったらすぐスクラップ行きになるであろう運命を考えて、今はやめました。

免許がなくなりそうだし、ね。

(しづや)

【ピクニックオフ開催のお知らせ】

春の恒例ピクニックを6月7日(土)に開催したいと思います。会場は現在ロケハン中です。詳細は追って葉書にてご案内いたしますので是非ご参加下さい。

候補地、その他ご希望などがあれば以下へご連絡ください。

担当者;ヒラグチ TEL/FAX : 03(****)****

【ロドスタ2号が出来るまで】

この文章は、本来であれば昨年度のプレス第5号には掲載されなければならないものでしたが、事務局の手違いで半年も眠らせてしまいました。折角続編を書いていただいた長谷川さんには、大変申し訳無く思っております。心よりお詫び申し上げます。また、続編を心待ちにしていた皆さんにもお詫び致します。

今後、このようなことが繰り返されないよう、気をつけますのでこれに懲りず、投稿お待ちしております。

E.R.F.C.事務局

あまり文章など書いたことがないので、改めて読み直すと説明が足りない箇所など読みづらい部分があることをお詫びします。

引き取る事になったロドスタですが、まずやらなければならなかったのが幌の移植です。それまでは、幌がぼろぼろになってしまったので骨ごと外されて、替わりに借り物のハードトップが着けられていたので私のところに来た時は屋根なしだったのです。1号解体の時に幌の外し方を教えてもらったので1号からの移植は簡単！と、いきたかったのですが事故の影響でフレームがゆがんでいるみたいでボルト穴があわない...しかたなく友達に手伝ってもらい無理やりボルトをいれ装着！なんとか付いたと思って幌をしめようとしたら左右でキャッチャーの隙間が違うではないですか！それでもなんとか手で引っ張りながら閉めると今度は助手席の窓に隙間ができています。...今はお金がないからこれでOKと自分に言い聞かせこの場は終了。

ちなみに他に1号から移植したのは、フロントバンパー、ボンネット、トランク、リアコンビネーションランプ左右、ステアリングなどなどです。次にやったのがエンジンルームの掃除です。ボンネットを移植した時にヘッドカバーからのオイル漏れや埃、なぜか多い小石の侵入(後にフロントフェンダー内側のインナーカバーがない事が判明)などがあったので一度掃除して不具合な場所を確認したかったのです。ホルツのエンジンクリーナーをかけてブラシで擦りながら水道水で洗い流すと結構綺麗になりました。洗った後は駆動するところは油をさし、コネクタ部分などには接点復活剤を塗布して完了！その後カムカバーバックを注文して交換、いい機会なのでサンドペーパーで磨き(前々からやってみたかった)後は様子を見ながら確認することになりました。

次に取り掛かったのは内装関係、基本的には1号からのパーツを交換&取り付け。後はなぜかなくなっているハンドル右のオプション用SWのめくら蓋、ここに穴が開いているととっても不自然なのでどうしようか思案した結果、スターターボタンを作る事に決定！会社から、ゴミ箱に捨てられていたアルミプレートと機械の操作盤からスイッチを拝借して加工し取り付け、うーん、なかなかあり合わせにしては良い出来？とりあ

ず一旦これで内装はよしとしました。

いよいよ問題の板金塗装すれば見た感じは出来上がりなのですが...、かるく自分で見積もりしてみても40万前後はかかりそう、いつもお世話になっている同級生の板金屋に相談。いつも何かあるとサービス価格でお世話になっているのですが、今回はさすがにそれでもかかり過ぎ。そこで以前「先輩で今度独立して板金屋を開業するので練習に何台か欲しいよ」と話していたのでそこをお願いする事にしました。まあ、その兄貴とも知り合いなのですが、最初は自分も手伝ってやろうとしたのですが、仕事の合間(ほとんど日曜日のみ)にしか出来ないの作業がわからなくなるのことでお任せすることにしました。「塗装代と光熱費だけ出して」と言われていたのだけれど、実際に車を見せに行くと先輩、「.....これ...自家塗ですか...リアフェンダー...どうします？この状態だと普通は切り離して交換かな~、それともパテでデコしちゃいます？」私、「錆が怖いからパテでいこうか」先輩、「そうですね、これ時間かかるな~いいですか？」私、「いいよ、他にもいる大変だけどお願いするよ」とお願いし、次は板金が完了するまでに考えることに。

周りの意見を聞いたり走っている車の色を見たりいろいろ考えた結果、何色かに絞り工場にて相談。第一候補はダイハツミラジーノのガーネットレッドマイカ、しかし3コート塗装になってしまい値段が高いので断念、第二候補の同じくダイハツネキッドのダークオリーブマイカ、これは問題なくOK！後は出来上がりを待つのみです。半年後、去年の清里ミーティングの一週間前、いよいよ完成！！仕上がりは...おお！イメージ通りじゃないですか！光の当たり具合で結構色が変化して綺麗。先輩も「なかなかいい色ですねー」と満足げでした。

こうして2号は一応の完成になったのです。その後、隣の板金屋に廃車になったロドスタを発見して部品取りしながら移植したり、加工してオリジナル部品を作ったり、今現在は幌の交換も終了し快適な車になりました。やれていた足回りの交換やちょっとしたチューニングなど少しづついじるのを楽しみながら第二のロドスタライフを送っています。

(長谷川浪次郎)

【スタッフ自己紹介】

~メンバーは変わってないですが今年の抱負(?)と言うことで・・・~

今年も副会長とWeb&メーリングリストの管理を担当するわです。

昨年度の自己紹介を読み返してみても実績と比較しますと...

(1) Webの更新頻度のアップ(一時に比べるとマシになったかな...)

(2) 安全運転研鑽会の復活(スママセン、今年も難しそうです)

...と1勝1敗ってトコでしょうか。

最近メーリングリストが低調なので、こしはちょっとメーリングリストをてこ入れしようかなんて考えてます。

あ、安全運転研鑽会の会場情報、引き続き情報募集中です。

つーことで今年も宜しくお願いします。

事務担当改め番頭のつやまです。里帰りミーティングで広島に行ったら、そういうことになっていました。謎です。特に役割が変わることはないみたいです。今年も、クラブの名簿管理と郵便受けとして、皆さんから届くお便りを最初に拝見させていただく喜びを味わいたい待ち構えています。これが楽しくて事務...じゃなくて番頭をやっています。ご意見ご希望はもちろん、旅日記、改造日誌、インプレッション、質問、ポエムなどなど、お待ちしております。

伝説の編集長がERFCの担当をすることになった今年も、会報は分業体制となります。ということで、**昨年に引き続き印刷を担当いたします、高橋(ち)でございます。**編集長の交代で伝説として聞き及んでいるような原稿になるのか?!と今からドキドキしております。何はともあれ、皆様のお手元に定期的にお届けしたいと希望は持っておりますが...。今年もよろしく願います。

渉外というより、元会長という怪しい存在、怪鳥をしております、しばやです。今年も変わることなく、ロードスターをダシにした面白いコトや、心がなごむ時間を作り、皆様と楽しめたらと思っています。なお、無理しないでやりましょう、というERFCのいい加減な

方針の責任の大部分は私にあると思います。お怒りの方、ごめんなさい。でも許してね、ってことで、今年もよろしく！

昨年秋の台風で自宅の屋根から浸水してPCが逝ってしまい、後半は他のスタッフにも迷惑の掛け通しでした。屋上の防水は修復しましたが、PCははまだ復旧できていません。今年は一刻も早くPCを後旧させ昨年の方までがんばりたいと思います。雨掘りはユーノスだけでたくさん、の**プレス進行係ヒラグチ**でした。

【通信費のお願い】

日本経済も相変わらず停滞し、春闘も景気のいいのは日産だけ、という今日この頃、皆さん、いかがお過ごしですか？さて、こんな書き出して始めておきながらまことに心苦しいのですが、またまた皆さんに通信費のお支払いをお願いする季節がやって参りました。お支払いいただいた暁には、年間6回、皆さんのお手元に役立つ情報満載、その他の情報混載の会報が届きます。

「そんな会報いらんわい！」などとおっしゃらずに、どうぞお早めに下記口座に3千円お振り込み下さい。

* 振込先

東京三菱銀行神保町支店

普通口座 NO.0313325

イーアールエフシー

尚、事情があって以前のような郵便小為替での支払いを希望される方は、事務局まで郵送にてお送り下さい。ところで、皆さんに支払いを催促しているのは、毎度おなじみ会計担当の**高橋**です。今年度もご臍原に。

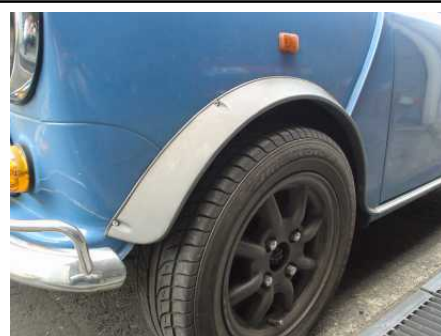
【ひでまるのユーノス(とミニ)日記】

里帰りて広島に行ったとき、去年清里に来ていただいたマツダの吉岡さんに「古い車ばかり乗ってないでさあ」と言われちゃったので今回は久しぶりにユーノスの話。

じつは前回の会報には書いてなかったんですが、骨折したりしてほったらかししたらユーノスのバッテリーがちょっと弱ってしまいました。ダウンしたミニの代わりに実家から岡崎にユーノスで帰ろうとしたら、セルが弱々しく「ウィ…」としか言いません。あと一息で回りそうなんだけど、そんなことでバッテリーを使い切っちゃうもんだし、家のプジョーからジャンプしてエンジンをかけました。一回かかっちゃえばこっちのもの。岡崎まで300kmエンジンを切らずに一気に走ったから充電されたのか、いまは何事もなかったかのように走ってます。

連休には渥美半島の先端、伊良湖岬まで行ってきました。バッテリー買い換えようかと思ったけど、とうぶんだいじょーぶそうだからそのお金でプラグとプラグコードを新しいのに換えちゃいました。バラついてたアイドリングがすっかり安定しています(って、換えどきだったってことじゃんね)。

で、点火系をリフレッシュして絶好調のミニは車検が迫っていたので、主治医の下に預けてきました。またしばらくはユーノスの岡崎生活が続きます。愛知県のみなさん、遊びましょー。



オーバーフェンダーつけました。

(No.590 ひでまる)

【レディース通信】

ついにの間金杯だったと思ったら、あっという間に桜花賞が終わり皐月賞も済んで、じきにダービーだなんて…日々が過ぎるのは早いものである。なんちゅうカレンダーかって？実はワタシ、こう見えても家のPCから馬券買っちゃう、やさぐれ系主婦なのだ。

それにしても、競走馬の名前って面白い。今年の皐月賞を勝った「ネオユニヴァース」なんて、けっこうカッコイイけれど、「なんじゃこりゃ？」という方が多い気がする。「サスケ」に「クロカミ」、「アラシ」…「ヨロコビノサイフ」には大ウケしたし、「オジサンオジサン」に至っては脱力であった。「クマサンノホシ」なんてのもあったなあ。ワタシは、サイレンススズカが彼岸に駆け去って以来、長いことひいきの馬がいらない。ゆえに決めかねると名前で購入っちゃうのだが、どうにもヘンな名前に弱いのである。結果、必然的に(?)痛い目にあうのだが…

ところで、こんな無茶苦茶に見える競走馬の名前にも、一応付け方のルールが存在する。まず9文字以内であること。それから他の馬と同じ名前はダメ。過去の有名馬の名前も不可。(だから「ハイセイコー」なんて馬はもう出てこない)そして、これは人間でも同じようだけれど、「一般的に不適当なもの」もつけられない。昔、子供に「悪魔」と名づけようとした親がいて騒ぎになったことがあったが、馬ではまず許可がおりないのだ。

名前は、個体識別のための記号ではあるけれど、同時にその個体の印象も決定する力を持つ。個体がウマであろうとヒトであろうと同じことだ。「マヤノトップガン」はいかにも速そうだし、「明」さんはあまり暗い人には思えない。不思議なもので、勝手にイメージが一人歩きしてしまうのだ。クルマでも同じで、スポーツカーならやっぱりそれらしい名前であってほしいものである。その点、よくぞ「ロードスター」と名づけて下さったものだと、しみじみ思う。もしも、ワタシ達が愛するあのクルマが「ポチ」(あくまで、例えば、だ)なんて名前だったとしたら…あれだけ売れたかどうか。ネーミングのセンスとは何か重要なものである。自分の親に感謝するが、ちょっとうらめし気な視線を送るか…さてこれを読んでいるあなたはどちらだろう。

ところで、ERFCのスタッフにはニックネームがついている人間が多い。元会長の長谷川氏は「代貸」、同じく元会長の渋谷氏は「怪鳥」、会計の高橋氏は「金庫番」…そしてワタシはなぜか「総長」。本人たちは無自覚だが、他人の目には「謎の集団??？」と、さぞかし異様に映るに違いない。つまり、ERFCスタッフって、そういう方面のセンスは無いのかも。誰かセンスのいい人、いませんかねえ…自選他薦は問いませんので、どなたか、ひとつ、ヨロシク。

(つのやまけいに)

【編集後記】

そんなわけで今期から清里ミーティング実行委員長兼編集担当にもなった豆腐です。里帰りミーティングで広島に行ったら、まめくらになっていました。謎です。ちなみにこれまで一番脱力したのは「ロバノパンヤ」、最近のヒットは「カミサコワイ」です。…って話でなくて…。今回ひでまる会長から編集業務を引き継ぎましたが、結局いままでのものを踏襲した形で収めました。ただ、スタッフには以前東海地区限定の会報(昔同封されていた東海版とは別です)で文字の多い紙面を作っていた印象が強いらしく、…気がつけば期待に違わず大容量になりました。最後はこんな風に細かい字で帳尻合わせてるし、…(^_^;) どんなものでしょうか、この体裁。ご批判、ご叱責を原稿と共に心よりお待ちしております。(最敬礼)

さて、今からちょっと変わった車の試乗をします。次号ではそんな話も乗せたいな、と思っ

E.R.F.C. Newsletter

2003 Vol.1

2003年5月20日発行

発行：EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL：erfc@dec.sakura.ne.jp

URL：http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/

ています。そんな次号は7月20日頃の発行となります。楽しみに。

(まめぞう)